

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復師スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|-------------|--|---------|-------------------------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 衛生学・公衆衛生学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 金曜3・4限目 | 教室名 | 第2校舎302 |
| 担 当 教 員 | 濱田智子 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 衛生学・公衆衛生学を履修することで、「いかに人々の健康を保持できるか 健康を増進できるか 疾病を予防できるか 衛生を改善できるか」を正しく理解することができる。将来の医療従事者にとって役に立つ。公衆衛生学は国家試験科目であるので、国家資格取得に寄与できる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 本試験 100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 衛生学・公衆衛生学 6版 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 2018年 2月発行 柔道整復師国家試験過去問題 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 前回の問題を確認してほしい。次回(スケジュール通り)のところを予習してほしい | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 環境保健 環境アセスメント 環境モニタリングが理解できる | | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 環境保健の予習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | オゾン層の破壊、地球温暖化、砂漠化、酸性雨など地球環境の破壊の現況の理解、日本では公害、公害対策はなにか、環境対策 環境モニタリング、環境アセスメント 法律規制などについて学ぶ | | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 上水 下水 食中毒 食品衛生が理解できる | | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 環境保健の問題の復習と上水・下水・食品衛生の予習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 上水、下水の水質検査、現状 上水の改善 下水道の普及 対策につて 食中毒の種類、感染型 毒素型 食中毒の現状、食中毒対策である食品衛生活動について学ぶ | | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 職業病 (物理的 化学的 作業条件)が理解できる | | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 上水・下水・食品衛生の問題の復習と職業病の予習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 物理的環境因子による健康障害 熱中症 減圧症 騒音性難聴 振動障害 放射線障害 化学的要因による障害 有機溶媒中毒 金属中毒塵肺 職業性喘息 作業態様に起因する障害 頸肩腕障害 腰痛症 VDT健康障害について学ぶ | | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 産業保健が理解できる | | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 職業病の問題の復習と産業保健の予習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 職業病について 労働災害の対策 産業保健 労働安全衛生法、作業環境管理 作業管理 健康管理 労働基準法 労働衛生 トータル・ヘルスプロモーションについて学ぶ | | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 1～4回までに復習 | | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 1～4までの復習 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 環境保健 上水下水 食中毒 職業病 産業保健のまとめ | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|--|-------------------------|--------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 衛生統計が理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 衛生統計の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 衛生行政 出生、死亡、離婚 婚姻 死産 など人口動態統計 人口静態統計(国勢調査) 年齢別人口 人口ピラミッド 国民生活基礎調査 患者調査 について学ぶ | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 学校保健が理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 衛生統計の問題の復習と学校保健の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 学校保健対策 保健教育 保健管理 学校保健の組織と運営 学校保健組織活動 健康診断 健康相談 感染症予防 学校感染症第一種から第三種 学校環境管理 学童期の健康状況の統計について学ぶ | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 母子保健が理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 学校保健の問題の復習と母子保健の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 母子保健指標 乳児死亡 周産期死亡 幼児死亡 死産 妊産婦死亡 母性保健 母子保健対策 母子保健行政 わが国の母子保健事業の成果と今後の動向について学ぶ | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 6～8回までの復習 | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 6～8までの復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 衛生統計、学校保健 母子保健のまとめ | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 衛生学 感染症Ⅰが理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 衛生学、感染症Ⅰの予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症成立 感染源 感染経路 感受性宿主 主な病原体の分類 微生物(細菌 ウイルス 真菌 原虫 寄生虫) ウイルス感染症(気道疾患 神経疾患 ウイルス性肝炎 発疹を起す疾患)について学ぶ | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症Ⅱが理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 感染症Ⅰの問題の復習と感染症Ⅱの予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 細菌感染症Ⅰ グラム陽性菌感染症 グラム陰性菌感染症 嫌気性菌感染症 抗酸菌感染症 腸内細菌感染症 について学ぶ | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症Ⅲが理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 感染症Ⅱの問題の復習と感染症Ⅲの予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 細菌感染症Ⅱ コレラ ジフテリア マイコプラズマ感染症 リケッチア感染症 クラミジア感染症 スピロヘーター感染症 原虫感染症 真菌感染症 寄生虫感染症 について学ぶ | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症Ⅳが理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 感染症Ⅲの問題の復習と感染症Ⅳの予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症法1類～5類感染症 対策 検疫感染症 新興感染症 指定感染症 再興感染症 特定感染症指定医療機関 予防接種の種類 弱毒 不活化 トキソイド DPT MRワクチン について学ぶ | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 滅菌消毒が理解できる | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 感染症Ⅳの問題の復習と滅菌消毒の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 微生物による疾患 感染症成立条件 感染源 感染経路 感受性宿主空気感染 接触感染 飛沫感染 消毒剤 滅菌法 エチレンオキシドガス滅菌 高圧蒸気滅菌 乾熱滅菌 について学ぶ | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 衛生についての知識を持ち、衛生管理ができるようになる。 | 衛生学・公衆衛生学の教科書 配布プリント | 衛生管理ができるようになる |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |